

先-2-2
5.12.7

【先進医療A】
1年間(令和4年7月1日～令和5年6月30日)の実施件数が
0件である先進医療技術に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	実施医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 令和3年7月～令和4年6月まで の実績 (実施可能であるすべての医療 機関の実績)
7	末梢血単核球移植による血管再生治療	三重大学医学部附属病院	患者の病変の状態が比較的安定していたため	今後も患者の病変の様子を注意深く観察していく。	0件
12	CYP2D6遺伝子多型検査	東京慈恵会医科大学附属病院	2022年7月1日以降、Luminex社の検査試薬xTAGが販売中止となり、2023年2月で検査を終了した。検査体制継続のために、関係各所で協議を重ね、2023年7月より、株式会社エスアールエルでのCYP2D6遺伝子多型検査への切り替える体制を整えた。この調整のために新規の検査の受け入れを積極的にはできなかった。	新しい検査体制が整ったので、すでに3名の患者からの申し出がある。検査希望の共同研究施設申請の依頼も来ている。また、今後は、学会・研究会の他、患者会を通じて、検査の案内を行っていく。	3件
13	糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査	鹿児島大学病院	インフルエンザの流行はあったが、インフルエンザによる入院患者がなく検査の実施事例がなかったため	今シーズン以降、流行に応じて実施する予定	0件

【先進医療B】
1年間(令和4年7月1日～令和5年6月30日)の実施件数が
0件である先進医療技術に係る医療機関の今後の対応方針等

告示番号	技術名	申請医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 令和3年7月～令和4年6月までの実績 (実施可能であるすべての医療機関の実績)※
2	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。)	国立がん研究センター中央病院	平成29年11月に予定症例数到達により、症例登録を終了したため	保険適用に伴い、R5. 12. 1告示削除済	0件
4	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	慶應義塾大学病院	本試験は2020年5月に症例登録期間が終了しているため。	—	0件
17	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法 子宮頸がん(術後に再発したものであって、同時化学放射線療法に不応かつ手術が不能なものに限る。)	日本医科大学付属病院	2019/1/23に中止となっているため	—	0件
24	自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	京都府立医科大学附属病院	研究の症例登録期間終期が2021年9月30日であり、2022/7/1～2023/6/30の期間中の本治療の提供は不可であったため。	取り下げの申出により、R5. 9. 1告示削除済	3件
37	偽腔拡大に対する血管内治療 大動脈解離(術後に偽腔が拡大したものに限る。)	国立循環器病研究センター	登録期間が終了したため	—	2件
40	マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(非小細胞肺癌、乳がん、胃がん、大腸がん、膵がん又は胆道がんに限る。)	国立がん研究センター中央病院	2022年3月に症例登録が終了したため	—	78件
46	抗腫瘍自己リンパ球移入療法 子宮頸がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものであって、プラチナ製剤に抵抗性を有するものに限る。)	慶應義塾大学病院	本先進医療で用いる特定細胞加工物を製造していた企業(株式会社テラ)が令和4年8月に倒産したことに伴い、患者登録を一時中断していたため。	新たな受託先として、株式会社リプロセルを選定し、現在、TIL製造の技術移転を進めている。技術移転終了後、速やかに特定認定再生医療等委員会および先進医療技術審査部会で修正申請し、TIL療法を再開する予定である。	2件

告示番号	技術名	申請医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 令和3年7月～令和4年6月までの実績 (実施可能であるすべての医療機関の実績)※
59	ペバシズマブ局所注入療法 重症未熟児網膜症	神戸大学医学部附属病院	試験要項に該当する重症未熟児網膜症の患児が発生しなかったため。	試験の継続適否につき独立データモニタリング委員会で審議が行われたところ、試験中止の判断となったため、近日中に取り下げの予定である。	0件
61	セボフルラン吸入療法 急性呼吸窮迫症候群(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	神戸大学医学部附属病院	該当するARDS患者が入室しなかったため。	あと3か月程度様子を見て症例がなかった場合は、適応を拡大することや多施設研究とすることも考えている。	0件
65	生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	熊本大学病院	本研究に参加する全10施設での実施体制の確立に時間がかかり、症例登録に至らなかったため。	2023年6月30日にすべての共同研究機関および研究協力機関を含めたキックオフミーティングを開催し、研究開始が可能となったため、今後は積極的に該当患者の集積を図る。	-
69	集束超音波治療器を用いた前立腺がん局所焼灼・凝固療法 前立腺がん(限局性のものに限る。)	東海大学医学部附属病院	研究計画書の書式改訂、およびEDCシステム構築のため、本研究開始(令和5年2月1日)から本年6月30日までに対象者の組入れを行っていない。本定期報告書作成日時点で、先進医療実施医療機関は申請医療機関のみである。	研究計画書の書式改訂とEDCシステム構築が完了する本年10月から、最初の対象者の組入れを予定している。	-

※「-」は令和4年7月以降に告示された医療技